
君が僕であなたが私

コルっち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

「」のPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君が僕であなたが私

[$\tau_\alpha - \tau_\beta$]

N
7
1
8
6
Y

〔作者名〕
コルツち

【あ'りすじ】

最近、流行つて

いるVRMMO系のやつです。

なんか、書きたくなつたから書いてみました。

• ? ?
? ° *
? . *
° * .
• ?
? °.
° ° ?
• °.
? .
? *.
° .
* ° ?
° °.
• .
? ?
* ?
* °.
• *.
? °.
° °.
? ?
° *.
• *.
* .
• ?
? °.
° °.

プロローグ

もともとPC版のMMOの中でとても人気だったソフトが今回、VR用に仕様の改良版が発売されてその初回ロットの三万本のうちのひとつをで予約をし、一年以上首を長くして待ちいざ買えたと思いVMMMOをやってみると、単なる開発者の遊びで作った仕様がバグのせいらしく、クリアするまで終了出来ないゲーム内で死んだり接続を外されたらリアルという名の現実で死ぬとかいうどこのラノベだよ仕様になつたり…

唐突だけど…

他人の体つてものすごく使いづらい…

しかも、その体が異性のものだつたら余計にだ…

そして一度くらいは他人の体になつてみたいなんて思つてている男子諸君もこれを読めばすごい苦労する事をわかつてもらえるだろう。なぜならゲーム内でふとした事故によりキャラが入れ替わってしまつたからだ…

まあ、そんな例は俺らしかいない特殊な例らしいが…

とかいつちゃでどうなるかは気分次第です、
もしかしたら、VMMMOではないおはなしになるかも？

プロローグ（後書き）

1話（前書き）

禿げている方「めんなさい」
先にあやまります！

「世界はとてもつまらなくそして自分はいろいろとツイでない！だが、この時はただでさえツイでないのにも関わらず本当にツイでない体になるとは思つてもいなかつた」

「よお、雅輝！お前、何時にも増してなんか暗いな…なんかあつたのか？」

「ああ、なんだ…浩介か…いやあ、昨日は田直だつたじゃん。」

「あつ…昨日の浮島にけりれたやつ…？」

「うそ…」

浮島と言つのはあだ名、自分のクラスの担任で本名を鈴村紀夫というのだが外見は、ケツアゴで頭がてっぺんを中心禿げてるけど前髪のなごりかなんか知らないが頭に黒い浮島があり、最近なにを思つたのかしらないが無造作にヒゲを伸ばし始めた先生なのである。なんか髪にすごい未練がありますつて感じだからいつそ、坊主にすればいいのに…

まあ、そんな事はおいといて、その先生は英語の担当なのだが、昨日は授業が始まる時に入つてきた時に機嫌が悪かったのと、たまたま田直で黒板を消したのだが、一部、薄くチョークがのこり白くなつていたのと、教壇に黒板消しが落ちた後があり、そのせいで

「田直一ちゃんと黒板キレイにしinよー教壇はモップで今すぐふけー！」

と怒鳴りながら、いきなりローキックをしてきたのだ。

いやいや、いくら機嫌悪い+僕の事が嫌いだからとはいえ、ねえ…そこそこ普通の蹴りだつたんで地味に痛かったのと周りからのあかわいそうにみたいな視線がとてもイタかつた…

蹴られた後モップを濡らして教壇拭いて…

やつと授業が始まりました！みたいな…

「一度ある事は二度あるつてこいつじゃん！なんか今日嫌な予感するんだよね…」

蹴られたのが一度田で一度田というのが前々回の授業で単語の小テストの時にその先生に字が汚く名前が読めないといきなり頭を叩かれ単語が抜け落ちてしまい、点数が悪かったのだ…ツイてない…

「つーん、まあ気にすんなよーほりつ、はやく行こつぜー！」

「まあ、気にも仕方ないよねー今日は、なんも無ければいいな…」

1話（後書き）

1話目やつと投稿です。忙しいんで次回の投稿は用事が終わり次第
かな?

よろしくお願ひします

おつと…

ちよつと嫌な事を思い出していたり血口紹介が遅くなつてしまつた

僕の名前は南の城で雅に輝くと書いてなんじょう南城みなみじょう 雅輝みやきと読むのだが、
バカにされたりするときは、ガキとか言われるのがちよつと難点か
なあ…

でも、昔からあんまり変わつてないよねとか言われるから仕方ない
のか？

うーん、身長はクラスで4分の3番田たんじょうというなんとも言えない高さ
で、
自分的には顔は中の上ぐらい（だつたらいいな…）
それと声が少し高いのと性格が残念だからしゃべらない方がいいの
にとよく言われる…

あつもちりと、彼女いない歴＝年齢＝高校2年の16才ですけど…

べべつ、別に画面の向こうといつとつよりむしろ脳内に彼女いるから悔
しくも悲しくもないんだからね！

うん、目を瞑ればいつでも会える。脳内彼女の獣人の美海たんの
その猫耳はいつも通りかわいいよ！

ああ、美海にやんマジにやんこーほらね！

よーし、美海にやん分補充完了！今日も頑張るとしますかあ～！

さつき朝に声を掛けてきたのが、浅沼浩介あさぬま こうすけといつ

高1高2と同じクラスでたしか…5月生まれだから17才のハズ！

でもすごい熟女好き…

だって、この前の離校中にこの口コロンとかぶさけて言つたり…
ん？ 口コロンだと… ふざけんじゃねえ！ 俺は熟女好きなんだよ！
35才以上お断りだ！

と学校へ着いて教室に着くまで語られた…

いやあ、あいつの性癖なんて聞いた所で±0所かむしろ・だつたん
でそれからは口コロンとかそういう系の文句はいくら悪ふざけでも
言わないように気をつけている…

だから、こいつナツこいつかっこいいと思つのに彼女いないのか…
なーんて考へてる4時間田…

3話（前書き）

いきなりすさまじい腹痛についつつ胃が痛い…

今までの中でも一番痛い…

胃が痛くなつたのは初めてだわ…
いや、わざとマジド！

うーん、朝食はいつもより少なめだつたけど昼休みに宿題やつてた
せいで昼飯食わなかつたせいかな？ ああ、しかもよりによつて、
浮島の英語の授業…

あんまりつけたくないけど残り30分やし…

でも、授業のスピード少しさはやいから聞かないとわかんないんだよ
ね…

困ったな…

まあ、仕方ない、机の上に上半身を預けてノートとひとすりするか…
うん、少し楽になつた！

だが、5分ぐらゐすると…

「おこつ、南城！くねくねするなー！」

ヒセツモレ浮島に怒鳴られた…

いやいや、くねくねするなつてどういう事だ！

ちょっと上半身を机に預けてノート取つてるだけだぞ…と思いつつ
も、姿勢を直さなかつたら余計に怒られんで、仕方なく姿勢を直し
た。

しかし、ものの5分もすると、さつきの姿勢のおかげで痛みが弱ま
つてた反動のせいなのかいつ胃が、

痛い痛い痛いイタいイタいイタい！

つて訳あまりにも痛いので、胃の辺りを押さえて下を見て耐えていたら…

バゴッ！

ツ…

ちよ～頭いてえ～！

えつ、ちよつ、んぬ、何があつた？

顔を上げてみるとそこには浮島が教科書を持って立っていた。
どうやら教科書の背表紙で殴られたらしい。

この英語の教科書はよくあるライトノベルとかと同じぐらいの太さ
なのだが背表紙がしつかりしていて結構、丈夫にできているのだ。

「おいつ、南城！どうして今、辞書開いてないんだ？

俺は、辞書開けつていいだろ？開いてないってことは、お前、寝
てただろ？

ほ～り、本当の事いつてみるー！」

と睨まれながら言われたが、
ん？殴られて頭が痛いせいか、頭に意識がいき胃があまり痛くない
だと？

先生殴つてくれてありがとうー胃の痛みが楽になったよー！

いやいやまだびつひもいてえよーってか痛い場所増えたじゃねえか…

バカやううなんてすうげえ下らない事を考えながら…

「いや、寝てないですよ。畠」

バゴッソー！

「おじい、嘘をつくな…じゃあ、だつたらなんで辞書開いてないんだ。言い訳なんかするな！」

ツ…頭が真っ白になつた。

いてえ！ちよつ、せつきよりもいてえ！

いや、まだ続きのセリフがあつたのに…

つてか最後まで人の話し聞けつての教師だろ…

それより、教科書を上から大きく振りかぶつてフルスイングで重力で攻撃力を増させながら叩きつけるつてどういう事ですか？

しかもさつと叩いた所と同じ箇所に寸分違わずに今回は教科書の角で！

と頭を押さえてみると…

ぬぬぬ？あれつ、だんだん腫れてきた…

つて事はだよ…この殴られた箇所はたんじぶになつてきてるつて事じやん…

あーあ…どうしよう…

頭を押さえながら前を見るとちよつと浮島が教壇に戻る所だつたが、何故かいきなり後ろを振り向くと、

ニヤリ
ｗｗｗ

ふつ、ザマア
ｗｗｗ

とでもいいたげなとでもムカつく笑顔を向けてきた…

うつわ…本当ムカつくわ…

その後、浮島には何も言われず無事じやないけど…

胃の痛みと頭のたんこぶの痛みをじりじりと4時間皿の浮

島の授業が終わった…

ああ、嫌な予感で当たるんだな…

2度ある事は3度あるんだ…

あ～あ…本当、ツイてない…

3話（後書き）

浮島の授業が終わって休み時間に昼飯を食べたら無事に腹の痛みが治まったのはいいが・・・

5時間目も頭のたんこぶが痛かったので5時間の休み時間に保健室に行つたりしたけど、

6時間目は何事もなく? (頭のたんこぶに氷嚢をのせてたから視線がイタかっただが・・・)

過ごせ放課後にやつと学校が終わったあとと伸びをしていると、浩介が

「まあ、あれはツイてなかつたな。まあ、ドンマイーって訳で今日も途中まで一緒に帰るつづけ?」

と笑われながら言われた

いやいや、ふやけんなよーまだ、マジで痛いんだから...

ああ、明日には治つてればいいなあ等と思いながら、

「ああ、いいやー

まつ、彼女がいない駅どうしで、用事がなればだいたいいつも一緒に帰つてるけどなー!

「朝、お前がテンション低すぎたせいで言えなかつたんだけど...」

「おうと、何をへりてかまだ頭痛いからテンション低いけどなー。」

「ハーン、どうこうつかなへやつぱはいつのやめよつかな?」

「うふ…おこおこ、焦らすなつへー。」

「仕方なー…まあ、テンションが低くてかわいそうなお前に、これ
をやひや。」

とこつて、USBを渡された。

「どれどれ?」

「ふむふむ、よくよくみると4Gと書いてあつた。

「このUSBが4ギガつてことせ… 用のギャルゲーそれともま
れかの…」

「まあ、ゲームつてのはあつてこるが、家帰つて中身を見ればわか
る。」

多分、内容は畠田に新聞とかに載ると思うけど…まあ、一日先取りしたスクープだから！」

「え？？」

「おひと、じゃあ、この曲がつまでも別れだな。じゃあな～！」

「おこおこ、だからこの曲はなんなんだよ～…とにかくこの曲を見たら返した方がいい感じ？」

「この曲はあがるわ～ ま、見てのお楽しみにいやつだ～。」

「あ～やっぱマジですか…」

アイツは、教えないといつて書いたら教えてくれた試しがない…

仕方ない、家帰つてからPCを立ち上げるとあるかあ～！
つてか…家までまつちだな…

4話（後書き）

「タタタタしておそれくなつました・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7186y/>

君が僕であなたが私

2011年12月21日19時56分発行